

令和4年度 福知山公立大学 学生募集要項

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応として、すべての選抜試験に係る日程や選抜方法等について変更となる可能性があります。その際は本学ホームページにてお知らせいたします。出願に際しては、必ず本学ホームページを確認してください。



新しい京都の公立大学

福知山公立大学

The University of Fukuchiyama

地域経営学部 地域経営学科／医療福祉経営学科
情報学部 情報学科

令和4年度

福知山公立大学 学生募集要項

-目次-

基本理念・アドミッションポリシー	1
令和4年度選抜概要	2
出願資格・出願手続	4
Web出願の流れ	6
受験上の注意	10
地域経営学部	
一般選抜前期日程（5教科型）	12
一般選抜前期日程（3教科型）	14
一般選抜後期日程	16
学校推薦型選抜	18
社会人選抜	20
私費外国人留学生選抜	21
令和3年度入試実施状況	23
情報学部	
一般選抜前期日程（5教科型）	30
一般選抜前期日程（3教科型）	32
一般選抜後期日程	34
学校推薦型選抜	36
令和3年度入試実施状況	39
合格発表及び入学手続等	44
よくある質問	48
新型コロナウイルス感染症に関する対応について	49

選抜試験及び入学手続における個人情報の取扱い

選抜試験及び入学手続における個人情報は、福知山市個人情報保護条例に則り、次のとおり取扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①選抜試験実施、②合格発表、③入学手続、④これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 選抜試験の成績については、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。

基本理念

市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

アドミッションポリシー

本学は、入学者受入れの方針を以下のように定め、学習意欲の高い学生を募集します。

地域経営学部

地域経営学科

本学科は、再生や変革をとおして地域社会の活性化等に貢献する人財育成を目標とし、地域経営の基本を学び、それを社会で実践しようとする意思をもつ者、又はその可能性がある者と判断できる者を受け入れます。

医療福祉経営学科

本学科は、認定資格である診療情報管理士の在学中の資格取得を目指し、医療機関・福祉施設の経営に参画する、あるいは医療福祉をとおして地域に貢献する意思をもつ者、又はその可能性がある者と判断できる者を受け入れます。

大学入学までに学習しておくべき教科・科目等

福知山公立大学地域経営学部は、グローバルリストの育成にあたり、幅広い教養と基礎学力を身につけていることを求めます。そのため、大学入学までに学習しておくべき教科・科目等については、特定の教科に偏ることなく学習し、すべての教科における基礎的な学力を望みます。又、資料や文章を読む力やその理解を表す力等の基本的なコミュニケーション能力の習得も望みます。

情報学部

情報学科

本学科は、情報学及び情報技術の基本を学び、その学びを実践することにより地域社会に貢献しようとする高い意欲と意思をもつ者、又はその可能性がある者と判断できる者を受け入れます。

大学入学までに学習しておくべき教科・科目等

福知山公立大学情報学部は、幅広い教養と基礎学力を身に付けていることを求めます。大学入学までに学習しておくべき教科・科目等については、数学を中心にしつつ、広い範囲における堅固な基礎的な学力を有することを望みます。又、地域社会に貢献する情報技術のあり方について自ら思考し表現共有する力を有することを望みます。

令和4年度選抜概要

1 学部・学科・入学定員

学部	地域経営学部		情報学部	合計
学科	地域経営学科	医療福祉経営学科	情報学科	
入学定員	75名	25名	100名	200名

2 選抜日程

地域経営学部

選抜区分			募集人員		出願期間
			地域経営学科	医療福祉経営学科	
一般選抜	前期日程	5教科型	30名	10名	1月24日(月)～2月4日(金)
		3教科型	11名	4名	
	後期日程		7名	3名	
特別選抜	学校推薦型選抜		全国枠15名	全国枠5名	11月1日(月)～11月5日(金)
			地域枠10名	地域枠2名	
			専門学科枠2名	専門学科枠1名	
	社会人選抜		若干名	若干名	
	私費外国人留学生選抜		若干名		

情報学部

選抜区分			募集人員	出願期間
			情報学科	
一般選抜	前期日程	5教科型	40名	1月24日(月)～2月4日(金)
		3教科型	15名	
	後期日程		10名	
特別選抜	学校推薦型選抜		全国枠20名	11月1日(月)～11月5日(金)
			地域枠10名	
			専門学科枠5名	

3 障害等を有する者について

障害等を有する者で受験上又は修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願を予定している選抜区分の出願開始日の1か月前までに、本学入試係にご相談ください。詳細は5ページを参照してください。

- 一般選抜は「分離・分割方式（前期日程・後期日程）」で実施します。
- 一般選抜前期日程は5教科型と3教科型のいずれか1つを選択します。
- 本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜で「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなります）を設定しています。又、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続期間
	2月25日(金)	本学 大阪	3月8日(火)	3月10日(木)～3月15日(火)
	3月12日(土)	本学	3月21日(月)	3月23日(水)～3月27日(日)
	11月20日(土)	本学	12月3日(金)	12月6日(月)～12月10日(金)

	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続期間
	2月25日(金)	本学 大阪	3月8日(火)	3月10日(木)～3月15日(火)
	3月12日(土)	本学	3月21日(月)	3月23日(水)～3月27日(日)
	11月21日(日)	本学	12月3日(金)	12月6日(月)～12月10日(金)

出願資格

1 一般選抜 前期日程・後期日程 出願資格(両学部)

- 次の（１）～（３）のいずれかに該当する者。
- （１） 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和４年３月卒業見込みの者
 - （２） 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和４年３月修了見込みの者
 - （３） 学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和４年３月３１日までにこれに該当する見込みの者で、次の（ア）～（カ）のいずれかに該当する者
 - （ア） 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - （イ） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者
 - （ウ） 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者
 - （エ） 文部科学大臣の指定した者
 - （オ） 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和４年３月３１日までに合格見込みの者
 - （カ） その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和４年３月３１日までに１８歳に達する者

※出願資格審査について
上記（３）の（カ）資格で出願する場合は、事前に出願資格審査を行います。出願期間開始日の１か月前までに本学入試係へお問い合わせください。

2 学校推薦型選抜(両学部)、社会人選抜(地域経営学部)及び私費外国人留学生選抜(地域経営学科)の出願資格は、各選抜の詳細で確認してください。

出願手続

1 出願方法

Web出願サイトを利用して出願内容を登録し、入学検定料を支払いの上、「志願票」をA4サイズでカラー印刷してください。なお同時に印刷される「宛名シート」を市販の封筒（角2サイズ）の表面に貼り、志願票と各選抜における出願書類を封入の上、必ず簡易書留を速達で出願期間内に郵送してください（持参不可）。各選抜とも出願締切日の消印有効です。Web出願サイトは各選抜の出願開始日の一週間程度前から利用ができます。利用方法については6～9ページを参照してください。

2 入学検定料 17,000 円

入学検定料の支払いは8ページを参照してください。

3 出願書類の留意事項

以下の留意事項を確認の上、「宛名シート」を貼り付けた市販の封筒（角2サイズ）に必要な出願書類を封入の上、送付してください。

出願書類	対象選抜	留意事項	本学ホームページからのダウンロード
志願票	全選抜	●Web出願サイトを利用し、印刷をしてください。詳細は6～9ページを参照してください。 ●顔写真データ（出願前3ヵ月以内に撮影した、正面、上半身、無帽、背景なし）を事前に準備し、Web出願サイトにアップロードしてください。	Web出願サイトから印刷
大学入学共通テスト成績請求票	一般選抜	●令和4年度大学入学共通テスト受験票を受領した際に交付された成績請求票（一般選抜前期日程は「国公立前期日程用」、後期日程は「国公立後期日程用」）を志願票の所定欄に全面のり付けし貼ってください。	
調査書	一般選抜 学校推薦型選抜 社会人選抜	●出身学校長が作成し、厳封したもの。 ●高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込みの者は「合格成績証明書」又は「合格見込成績証明書」を提出してください。（免除科目がある場合は当該高等学校の「調査書」又は「単位修得証明書」を添付してください。）	

出願書類	対象選抜	留意事項	本学ホームページからのダウンロード
学校長推薦書	学校推薦型選抜	●本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。（調査書と同封可）	○(PC入力可)
自己アピール書		●本学所定の様式により志願者本人が記入したもの。※情報学部のみ	○(PC入力可)
履歴書	社会人選抜 私費外国人 留学生選抜	●本学所定の様式により志願者本人が記入したもの。	○(PC入力可)
最終出身学校の卒業 (見込) 証明書及び 成績証明書の写し	私費外国人 留学生選抜	●出身高等学校全期間の成績証明書（出身学校長が作成し、厳封したもの） ◆日本の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の調査書又は成績証明書（在籍期間も証明されていること）を提出してください。 ●出身高等学校の卒業証明書又は卒業見込み証明書 ◆成績証明書に卒業年月日が明記されている場合は提出する必要はありません。 ◆教育制度上、学校教育12年の課程を修了しても卒業証明書に該当するものが発行されない場合は、出身高等学校発行の学校教育12年の課程を修了した証明書を提出してください。	
日本留学試験 成績通知書の写し		●令和2年11月又は令和3年6月に受験した際のもの。出願受付後に本学から日本学生支援機構に成績の確認を行います。	
住民票の写し		●日本国内の市区町村発行の在留資格を明記したもの。複写不可。	
経費支弁誓約書		●本学所定の様式に経費支弁者本人が直筆で記入したもの。代筆は不可。	○(PC入力可)
経費支弁者の年間所得などを公的に証明する書類		●年間所得証明書、銀行の預金残高証明書など。複写不可。	

4 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けることができませんので、十分注意してください。
- (2) 出願後の選抜区分、志望学部・学科、第一希望試験会場の変更等は一切認めません。ただし、出願書類に記入した住所等に変更が生じた場合は、直ちに本学入試係へ申し出てください。
- (3) 一度提出された書類はいかなる理由があっても返還しません。
- (4) 一般選抜前期日程における大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、大阪会場で受験できない可能性があります。この場合、受験票に試験会場を記載しますので、受験票到着後に必ず確認してください。

5 併願等について

- (1) 本学の選抜において、同一の選抜区分で学部・学科の併願はできません。
- (2) 学校推薦型選抜では、他の国公立大学・学部（独自日程で選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以降同様）との併願はできません。
- (3) 一般選抜では、本学の前期日程と他の国公立大学・学部の前期日程は併願できません。又、本学の後期日程と他の国公立大学・学部の後期日程も同様です。なお、本学の前期日程及び後期日程と他の公立大学中期日程の併願はできます。本学の前期日程と後期日程を併願する場合は、選抜区分に応じて出願書類を準備の上、送付してください。
- (4) 他の国公立大学・学部の入学手続を完了した者は、本学の合格者とはなりません。本学の選抜で不合格となった者は、以降の本学及び他の国公立大学・学部の選抜に出願できます。
- (5) 本学に合格し入学手続を完了した者は、以降に実施する本学及び他の国公立大学・学部を受験しても合格者とはなりません。

6 障害等を有する者について

障害等を有する者で、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は問わない）を、出願を予定している選抜の出願期間開始日の1か月前までに、本学入試係まで送付の上ご相談ください。大学入学共通テストにおいて受験上の配慮を受ける場合でも、同様に申請を行ってください。

- (1) 出願予定者の氏名・住所・連絡先電話番号・出身高等学校・志望学部・学科・選抜区分等
- (2) 障害の種類・程度がわかる書類
現在治療中の者は、医師の診断書（複写でも可）、障害者手帳を持っている場合はその複写でも可
- (3) 受験上特別な配慮を希望する事項
小論文の試験問題には、カラー刷り図表による出題の可能性があります。色覚異常等がある者については、申請を行ってください。その他、受験時に座席の配慮が必要な場合等についても申請を行ってください。
- (4) 修学上特別な配慮を希望する事項
- (5) 出身高等学校等における特別な配慮
- (6) 日常生活の状況

Web出願サイト利用の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
志願票以外の出願書類は、早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
また顔写真データを準備してください。



STEP

2



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/fukuchiyama/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://www.fukuchiyama.ac.jp/admission/webentry/>
からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
「マイページへ」を
クリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをおしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



② 選抜区分選択と留意事項の
確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥ 出願内容の確認



⑦ 申込登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
番号メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



Famiポート

あなたと、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

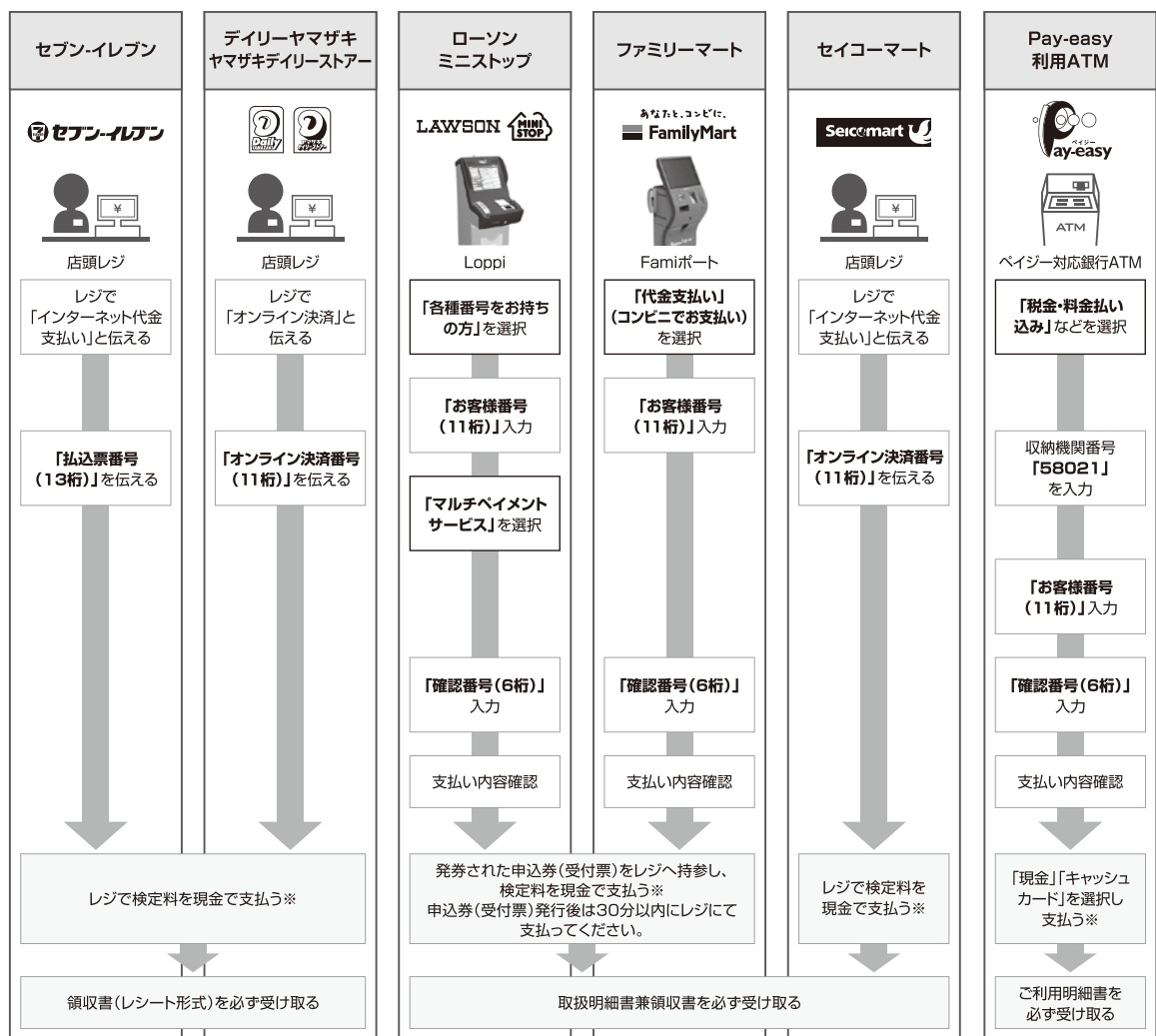
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

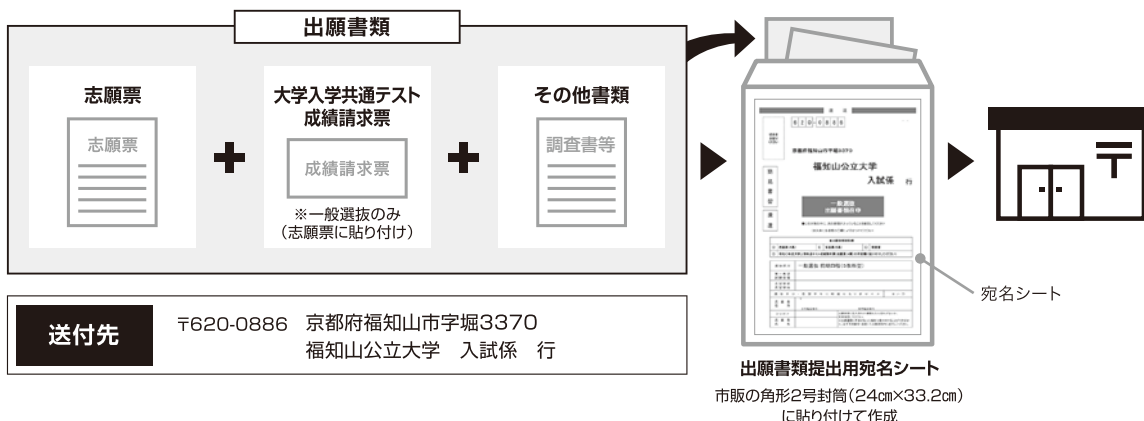
STEP

6



必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願締切日消印有効。



■出願書類

- (1) 4ページ3の「出願書類の留意事項」を確認してください。
- (2) 志願をする選抜区分の詳細ページ(地域経営学部は12～21ページ、情報学部は30～37ページおよび)に記載している出願書類を同封してください。

「志願票」の印刷方法

- (1) マイページに表示された **志願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **志願票(印刷)** のボタンがクリックできるようになり志願票の出力ができます。



〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して出願となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届けなければ出願とはなりませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

各選抜の出願期間締切後、1週間程度でマイページから受験票がダウンロードできるようになります。必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



受験上の注意

1 受験票の持参

- (1) 本学受験票は、Web出願サイトからダウンロードし、試験当日に必ず持参してください。詳細は9ページを確認してください。又、一般選抜では「令和4年度大学入学共通テスト受験票（共通テスト受験票。以降同様）」も必ず持参してください。
- (2) 受験票を忘れたり紛失した場合は、試験開始前に係員へ申し出て「仮受験票」の交付を受けてください。
- (3) 離席する場合は、受験票を必ず携行してください。なお一般選抜については、本学受験票は成績開示請求の際に、又、共通テスト受験票は入学手続の際に必要となりますので、受験後も大切に保管してください。

2 試験会場の下見

試験会場の場所、交通所要時間等を事前に確認してください。試験会場の下見はできますが、入場はしないようにしてください。

3 試験会場への入場

- (1) 試験会場は選抜区分ごとの詳細で確認し、間違いのないように十分注意してください。
- (2) 試験当日は、入室可能時間から試験会場へ入場できます。状況により、入室可能時間を早める可能性があります。
- (3) 試験室入室後、指定席着席時間までに席に着席し、受験票を机上の受験番号票の手前に置いてください。
- (4) 試験開始後30分以上遅刻した場合は、受験することができません。又、面接試験においては遅刻は認められません。なお、試験当日に交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により遅刻した場合は、特別措置を講ずることがあります。やむを得ない事情により遅刻する可能性がある場合は、各選抜とも指定席着席時間までに本学入試係（0773-24-7100）に電話をしてください。
- (5) 携帯電話等の電子機器は、試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。又、これらを時計として使用することは認めません。
- (6) 試験会場では、試験監督者及び係員の指示に従ってください。入退場時の混雑を避けるため、係員が誘導を行う場合もあります。
- (7) 受験に際しては必ずマスクを持参してください。食事等の時間を除き、マスクの着用を義務付けます。マスクの着用が困難な場合は出願時に本学入試係まで連絡をしてください。また消毒液を試験会場内に設置しますので、必ず消毒を行ってください。

4 試験中の注意

- (1) 机の上には、受験票（一般選抜の場合は本学受験票及び共通テスト受験票）、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型で手動式のもの）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く）以外のものを置かないでください。
- (2) 下敷、定規、コンパス、そろばん、電卓類の使用はできません。
- (3) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (4) 試験中、試験監督者に質問等のある場合は、黙って挙手してください。
- (5) 試験中に気分が悪くなった場合は、速やかに試験監督者に申し出てください。
- (6) 試験開始後は、試験が終了するまで退室できません。
- (7) 不正行為者にはただちに退場を命じ、全ての試験を無効とします。
- (8) 各選抜において、指定した全ての選抜方法を受験しなかった場合は不合格となります。

5 その他の注意・要請事項

- (1) 昼食が必要な場合は必ず各自で用意してください。特別選抜に限り自席で昼食を食べることができます。試験当日に本学の学生食堂の利用はできません。
- (2) 試験会場では、必要な場所以外には立ち入らないでください。
- (3) 受験者の付添者は、受験上の配慮者を除き、試験会場内への入場はできません。また試験会場への自動車・バイク・自転車等による入構はできません。ただし、本学試験会場への送迎に限り、本学の駐車場を利用できます。
- (4) 試験会場周辺でアンケート調査等があっても、本学とは一切関係がありません。
- (5) 宿泊が必要な場合は各自で手配してください。
- (6) 「新しい生活様式」等を実践し、体調管理に心がけてください。発熱や咳等の症状がある場合は予め医療機関で受診を行うようにしてください。
- (7) 試験当日は試験会場の入場までに、必ず各自で検温を行うようにしてください。
- (8) 他の疾病の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを推奨します。
- (9) 試験会場の換気等を行うことがあるため、上着等暖かい服装を持参してください。
- (10) 試験欠席による追試験や、新型コロナウイルス感染症に関する詳細は49ページを確認してください。

6 試験当日の所持品

試験当日は以下のものが必要となりますので、忘れ物がないか必ず確認してください。

- ・ 本学受験票及び共通テスト受験票（一般選抜のみ）
- ・ 筆記用具（黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削りなど）
- ・ マスク
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く）

地域経営学部
令和4年度 選抜区分詳細

地域経営学部 一般選抜 前期日程(5教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月24日(月)～2月4日(金)	2月25日(金)	3月8日(火)	3月10日(木)～ 3月15日(火)

2 募集人員

地域経営学科 30名

医療福祉経営学科 10名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格を有し、本学が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

(1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。

志願票の所定欄に令和4年度大学入学共通テスト成績請求票(国公立前期日程用)を貼り付けてください。

(2)調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

5 選抜方法【大学入学共通テスト5教科5科目又は6科目及び個別学力検査】

- ・次に示す大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績を総合して合否判定します。
- ・合否ラインに受験者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用します。調査書は、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。

	教科	科目	配点
大学入学共通テスト 利用教科・科目・配点	国語	「国語」	200点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	200点
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	200点
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	200点
	外国語	「英語」(リーディング100点及びリスニング100点)	200点
	合計		1000点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合も、いずれかの高得点科目を採用します。ただし理科の基礎を付した科目については2科目の合計点を1科目の得点として取り扱います。

個別学力検査	科目	内容	配点
	小論文	現代社会の課題についての資料（文章（英文を含む）や図表等）を基にした出題により、理解力、思考力、表現力を総合的に評価する。	200点

6 試験時間割

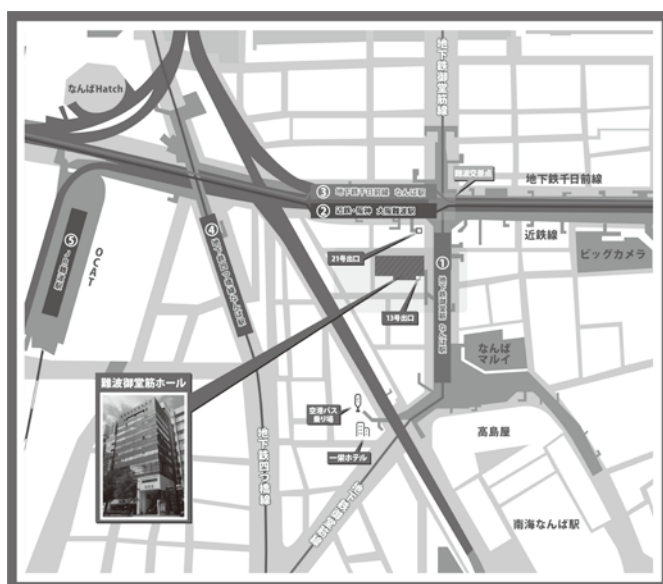
8時10分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付等はいきませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

当選抜では本学会場又は大阪会場で受験できます。出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、大阪会場で受験できない可能性があります。受験票記載の試験会場を、必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
巻末を参照してください。
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）
下記を参照してください。



〈アクセス〉

- (1)地下鉄御堂筋線「なんば駅」13号出口直結
- (2)近鉄難波線「大阪難波駅」より徒歩1分
- (3)JR「難波駅」より徒歩7分

地域経営学部 一般選抜 前期日程(3教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月24日(月)～2月4日(金)	2月25日(金)	3月8日(火)	3月10日(木)～ 3月15日(火)

2 募集人員

地域経営学科 11名
医療福祉経営学科 4名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格を有し、本学が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

- (1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。
志願票の所定欄に令和4年度大学入学共通テスト成績請求票（国公立前期日程用）を貼り付けてください。
- (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

5 選抜方法【大学入学共通テスト3教科3科目又は4科目及び個別学力検査】

- ・次に示す大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績を総合して合否判定します。
- ・合否ラインに受験者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用します。調査書は、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。

	教科	科目	配点
大学入学共通テスト 利用教科・科目・配点	国語	「国語」	高得点 3教科 200点 200点 200点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」、「情報関係基礎」 } から1	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 } から2 又は 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 } から1	
	外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
	合計		600点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合も、いずれかの高得点科目を採用します。ただし理科の基礎を付した科目については2科目の合計点を1科目の得点として取り扱います。

個別学力検査	科目	内容	配点
	小論文	現代社会の課題についての資料（文章（英文を含む）や図表等）を基にした出題により、理解力、思考力、表現力を総合的に評価する。	300点

6 試験時間割

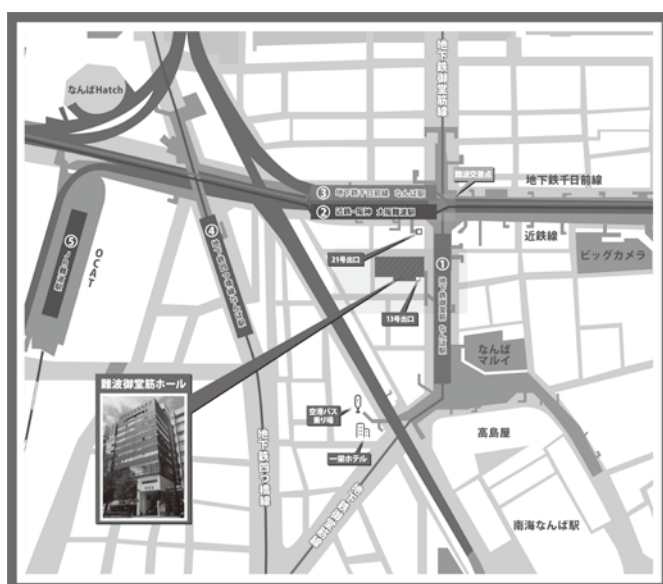
8時10分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付等はいきませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

当選抜では本学会場又は大阪会場で受験できます。出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、大阪会場で受験できない可能性があります。受験票記載の試験会場を、必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
巻末を参照してください。
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）
下記を参照してください。



〈アクセス〉

- (1)地下鉄御堂筋線「なんば駅」13号出口直結
- (2)近鉄難波線「大阪難波駅」より徒歩1分
- (3)JR「難波駅」より徒歩7分

地域経営学部 一般選抜 後期日程

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月24日(月)～2月4日(金)	3月12日(土)	3月21日(月)	3月23日(水)～ 3月27日(日)

2 募集人員

地域経営学科 7名
医療福祉経営学科 3名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格を有し、本学が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

- (1) 志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。
志願票の所定欄に令和4年度大学入学共通テスト成績請求票（国公立前期日程用）を貼り付けてください。
- (2) 調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

5 選抜方法【大学入学共通テスト5教科5科目又は6科目及び個別学力検査】

- ・次に示す大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績を総合して合否判定します。
- ・合否ラインに受験者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用します。調査書は、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。

大学入学共通テスト 利用教科・科目・配点	教科	科目	配点
	国語	「国語」	高得点 4教科 200点 200点 200点 200点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
	外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
	合計 ※5教科の中から高得点4教科で合否判定します。		800点

- ・合否判定は高得点4教科で行いますが、5教科の中から高得点4教科を選択するため、5教科の各指定科目の受験が必須となります。
- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合も、いずれかの高得点科目を採用します。ただし理科の基礎を付した科目については2科目の合計点を1科目の得点として取り扱います。

個別学力検査	科目	内容	配点
	小論文	現代社会の課題についての資料（文章（英文を含む）や図表等）を基にした出題により、理解力、思考力、表現力を総合的に評価する。	200点

6 試験時間割

8時10分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付等はいませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
 巻末を参照してください。

地域経営学部 学校推薦型選抜

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(月)～11月5日(金)	11月20日(土)	12月3日(金)	12月6日(月)～ 12月10日(金)

2 募集人員

地域経営学科 全国枠15名、地域枠10名、専門学科枠2名

医療福祉経営学科 全国枠5名、地域枠2名、専門学科枠1名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」「全国枠」としての選抜対象にもなります）を設定しています。又、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

全国枠は次の(1)～(4)の全てを満たす者。

(1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者(単位制高等学校等で令和3年度の途中に卒業する者を含む。
なお、過年度生等の出願は不可とする)

(2)合格した場合は入学することを確約できる者

(3)コミュニケーション能力が優れていると学校長が推薦する者

(4)全体の評定平均値が3.8以上の者

※両学科ともに1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

【地域枠の出願資格】

上記の全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ下記の市町に所在する高等学校の生徒とする。

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠の出願資格】

上記の全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ下記の(ア)、(イ)を満たす者とする。

(ア)普通科、理数科等以外の専門教育を主とする学科及び総合学科の出身の者

(イ)次のいずれかの資格を取得している者

- ・日本商工会議所主催 簿記検定試験2級以上
- ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級
- ・独立行政法人情報処理機構主催 ITパスポート試験

※各枠の出願資格を有する場合は、いずれの枠での出願も可能です。

4 出願書類

(1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

(3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）※本学ホームページからダウンロードしてください。

(4)専門学科枠で出願する者は(イ)に該当する資格を証明するもの（複写可）

5 選抜方法【小論文及び面接】

小論文と面接の成績を総合して合否判定します。

選抜方法	内容	配点
小論文	現代社会の課題についての資料（文章(英文を含む)や図表等）を基にした出題により、理解力、思考力、表現力を総合的に評価する。	100点
面接	個別面接を行う。調査書及び学校長推薦書も評価に含める。	50点

6 試験時間割

8時10分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付等はいませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・12時45分までに指定席に着席をしていない場合は面接試験の受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

巻末を参照してください。

地域経営学部 社会人選抜

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(月)～11月5日(金)	11月20日(土)	12月3日(金)	12月6日(月)～ 12月10日(金)

2 募集人員

地域経営学科 若干名
医療福祉経営学科 若干名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格1の一般選抜出願資格(1)～(3)のいずれかに該当し、令和4年4月1日時点で満23歳に到達し、社会人経験(主婦等も可)が5年以上ある者。

4 出願書類

- (1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。
- (2)調査書(出身学校長が作成し厳封したもの。発行されない場合は卒業証明書を提出)
- (3)履歴書(本学所定の様式による) ※本学ホームページからダウンロードしてください。

5 選抜方法【小論文及び面接】

小論文と面接の成績を総合して合否判定します。

選抜方法	内容	配点
小論文	現代社会の課題についての資料(文章(英文を含む)や図表等)を基にした出題により、理解力、思考力、表現力を総合的に評価する。	100点
面接	30分間程度のグループ面接を行う。グループ・ディスカッションではない。	50点

6 試験時間割

8時10分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付等はいきませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・12時45分までに指定席に着席をしていない場合は面接試験の受験を認めません。

7 試験会場

本学会場(福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370)
巻末を参照してください。

地域経営学部 私費外国人留学生選抜

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(月)～11月5日(金)	11月20日(土)	12月3日(金)	12月6日(月)～ 12月10日(金)

2 募集人員

地域経営学科 若干名

3 出願資格

日本国籍を有せず、本学での教育を受けるに足る十分な日本語能力を有し、次の(1)～(3)全てに該当する者。

- (1)外国において学校教育における12年の課程を令和4年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (2)独立行政法人日本学生支援機構が令和2年11月又は令和3年6月に実施した日本留学試験のうち、日本語・総合科目・数学(コース1又はコース2)を日本語で受験し、かつ日本語の得点(記述を含む)が200点以上である者。
- (3)本学入学時に「出入国管理及び難民認定法」の定めるところにおいて、支障のない在留資格を有する者。

4 出願書類

- (1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。
- (2)最終出身学校(日本語学校は除く)の卒業(見込)証明書
- (3)履歴書(本学所定の様式による) ※本学ホームページからダウンロードしてください。
- (4)成績証明書(日本の高等学校に相当する学校の学校長が作成した在学全期間の成績証明)
- (5)日本留学試験成績通知書の写し(令和2年11月又は令和3年6月に実施された際のもの)
- (6)住民票の写し(日本国内の市区町村発行の在留資格を明記したもの、複写不可)
- (7)経費支弁誓約書(本学所定様式、経費支弁者本人が直筆で記入のこと、代筆は不可)
※本学ホームページからダウンロードしてください。
- (8)経費支弁者の年間所得などを公的に証明する書類(年間所得証明書など、複写不可)
※出願書類が日本語以外の場合は、日本語訳及び当該日本語訳が原本と相違ないことを証明する日本国在外公館、自国の在日公館又は日本語学校等の証明が必要です。

5 選抜方法【小論文、面接及び日本留学試験】

小論文、面接及び日本留学試験の成績を総合して合否判定します。

選抜方法	内容	配点
小論文	現代社会の課題についての資料(文章(英文を含む)や図表等)を基にした出題により、理解力、思考力、表現力を総合的に評価する。	100点
面接	30分間程度のグループ面接を行う。グループ・ディスカッションではない。	50点
日本留学試験	日本語(記述含む)、総合科目、数学(コース1又はコース2) ※出題言語は日本語のみとし、85点満点に換算する。	85点

6 試験時間割

8時10分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付等はいきませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・12時45分までに指定席に着席をしていない場合は面接試験の受験を認めません。

7 試験会場

本学会場(福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370) 巻末を参照してください。

地域経営学部
令和3年度 入試結果

地域経営学部 令和3年度入試実施状況

①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
地域経営学部	推薦	全国枠	20	60 (34)	60 (34)	20 (12)	20 (12)
		地域枠	12	16 (7)	16 (7)	12 (7)	12 (7)
		専門学科枠	3	8 (4)	8 (4)	3 (2)	3 (2)
	一般	前期日程 (5教科型)	40	84 (37)	75 (34)	61 (28)	38 (18)
		前期日程 (3教科型)	15	64 (17)	52 (14)	32 (9)	21 (6)
		後期日程	10	91 (39)	17 (6)	11 (4)	8 (3)
	特別	社会人	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		私費外国人留学生	若干名	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	合計		100	324 (139)	229 (100)	139 (62)	102 (48)
地域経営学科	推薦	全国枠	15	50 (27)	50 (27)	15 (8)	15 (8)
		地域枠	10	14 (5)	14 (5)	10 (5)	10 (5)
		専門学科枠	2	7 (3)	7 (3)	2 (1)	2 (1)
	一般	前期日程 (5教科型)	30	61 (24)	54 (22)	45 (17)	28 (12)
		前期日程 (3教科型)	11	52 (12)	42 (10)	26 (7)	15 (4)
		後期日程	7	58 (28)	12 (5)	8 (3)	6 (2)
	特別	社会人	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		私費外国人留学生	若干名	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	合計		75	243 (100)	180 (73)	106 (41)	76 (32)
医療福祉経営学科	推薦	全国枠	5	10 (7)	10 (7)	5 (4)	5 (4)
		地域枠	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
		専門学科枠	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	一般	前期日程 (5教科型)	10	25 (13)	21 (12)	16 (11)	10 (6)
		前期日程 (3教科型)	4	12 (5)	10 (4)	6 (2)	6 (2)
		後期日程	3	33 (11)	5 (1)	3 (1)	2 (1)
	特別	社会人	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合計	25	81 (39)	49 (27)	33 (21)	26 (16)

() 内は女子で内数

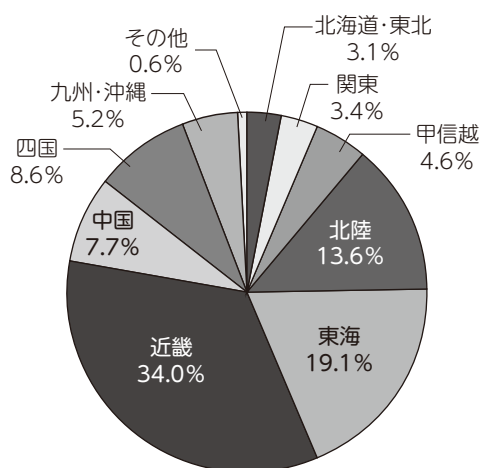
②一般選抜合格者最高点・最低点・平均点・得点率

学科	選抜区分	共通テスト 配点	個別試験 配点	総合計	共通テスト			個別試験			総点		
					最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
地域経営学科	前期日程 (5教科型)	1000	200	1200	718.0 71.8%	556.0 55.6%	636.8 63.7%	148.0 74.0%	70.0 35.0%	109.6 54.8%	865.0 72.1%	680.0 56.7%	746.4 62.2%
	前期日程 (3教科型)	600	300	900	450.0 75.0%	354.0 59.0%	419.4 69.9%	216.0 72.0%	108.0 36.0%	155.0 51.7%	615.0 68.3%	546.0 60.7%	574.4 63.8%
	後期日程	800	200	1000	614.0 76.8%	478.0 59.8%	540.3 67.5%	155.0 77.5%	130.0 65.0%	138.4 69.2%	760.0 76.0%	614.0 61.4%	678.6 67.9%
医療福祉経営学科	前期日程 (5教科型)	1000	200	1200	680.0 68.0%	532.0 53.2%	621.4 62.1%	150.0 75.0%	71.0 35.5%	106.2 53.1%	804.0 67.0%	682.0 56.8%	727.6 60.6%
	前期日程 (3教科型)	600	300	900	444.0 74.0%	412.0 68.7%	434.7 72.4%	174.0 58.0%	138.0 46.0%	158.5 52.8%	609.0 67.7%	577.0 64.1%	593.2 65.9%
	後期日程	800	200	1000	— —	— —	531.0 66.4%	— —	— —	125.0 62.5%	— —	— —	656.0 65.6%

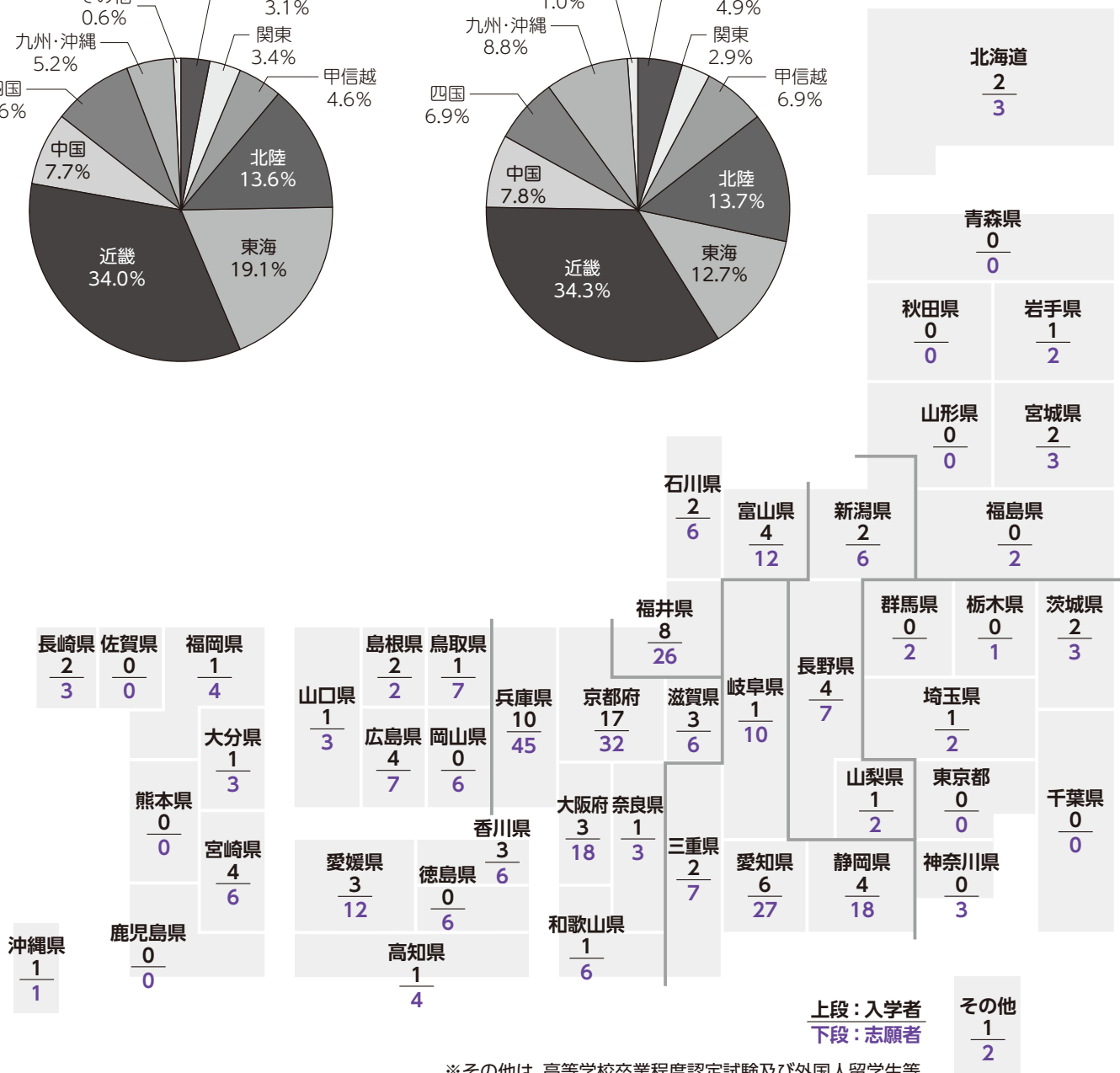
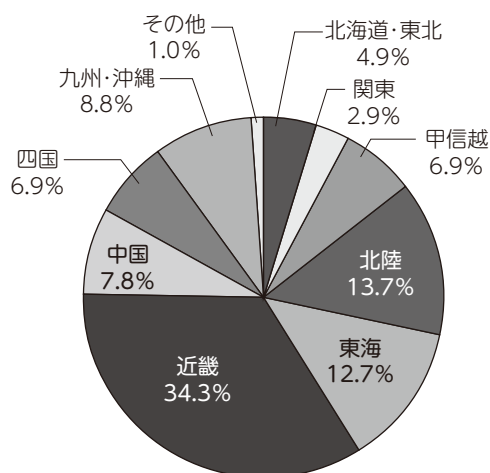
※医療福祉経営学科 後期日程については合格者が少数のため、平均点のみを公表します。

③地区別（都道府県）出願・入学状況

■地区別出願状況（324人）



■地区別入学状況（102人）



※その他は、高等学校卒業程度認定試験及び外国人留学生等

④志願者出身高等学校一覧

北海道	鹿西	愛知県	大阪府	天理	宇和
札幌手稲	七尾	愛知教育大学附属	箕面	和歌山県	宇和島東
函館中部	野々市明倫	名古屋西	寝屋川	耐久	南宇和
クラーク記念国際	福井県	熱田	枚方	田辺	松山中央
岩手県	藤島	横須賀	高津	和歌山信愛	済美
盛岡第三	羽水	武豊	八尾	近畿大学附属新宮	済美平成(中等教育学校)
宮古	大野	安城	泉北	鳥取県	高知県
宮城県	鯖江	安城東	桃山学院	鳥取東	高知西
白石	武生	西尾	浪速	倉吉西	高知商業
富谷	敦賀	西尾東	大谷	米子東	土佐
東北	美方	岡崎東	箕面自由学園	米子	福岡県
福島県	若狹	国府	近畿大学泉州	鳥取城北	小倉西
橘	金津	成章	大阪青凌	島根県	中間
会津若松ザベリオ学園	北陸	西春	金光八尾	出雲	筑紫女学園
茨城県	仁愛女子	一宮南	兵庫県	松江東	長崎県
太田第一	山梨県	江南	北須磨	岡山県	長崎南
緑岡	甲府第一	豊田南	神戸商業	岡山南	佐世保西
下妻第一	日本航空	豊川	西宮南	倉敷商業	大分県
栃木県	長野県	三重県	伊丹(県立)	津山商業	中津南
さくら清修	長野吉田	四日市西	川西緑台	新見	国東
群馬県	岩村田	津	柏原	瀬戸	福德学院
前橋(市立)	野沢北	津西	氷上	林野	宮崎県
高崎北	諏訪清陵	松阪	篠山鳳鳴	広島県	日向
埼玉県	諏訪二葉	宇治山田	明石	広島観音	宮崎南
浦和学院	岐阜県	川越	明石北	広島商業(県立)	佐土原
神奈川県	長良	滋賀県	加古川東	呉宮原	沖縄県
横浜清風	各務原	大津商業	小野	呉	那覇
関東学院六浦	大垣南	八日市	北条	広島修道大学ひろしま協創	
桐光学園	郡上	守山	龍野	山口県	
新潟県	関	米原	赤穂	山口	
六日町	高山西	京都府	姫路商業	慶進	
佐渡	静岡県	山城	八鹿	徳島県	
津南(中等教育学校)	三島北	東宇治	香住	城東	
東京学館新潟	御殿場南	北桑田	東播磨	城南	
富山県	富士宮北	亀岡	萱合	小松島	
富山北部	清水東	園部	伊丹(市立)	富岡西	
富山東	静岡	福知山	須磨東	阿波	
富山南	静岡城北	西舞鶴	伊丹西	城ノ内	
高岡	島田	宮津	須磨友が丘	香川県	
高岡商業	浜松北	加悦谷	川西北陵	高松東	
水橋	沼津市立沼津	峰山	播磨南	高松商業	
呉羽	静岡市立	日吉ヶ丘	北摂三田	観音寺第一	
福岡	浜北西	紫野	雲雀丘学園	大手前高松	
南砺福光	浜松湖南	洛西	三田松聖	大手前丸亀	
富山第一	科学技術	鳥羽	東洋大学附属姫路	愛媛県	
石川県	静岡学園	龍谷大学付属平安	近畿大学附属豊岡	新居浜西	
金沢二水	浜松学芸	京都成章	奈良県	今治北	
羽咋	藤枝明誠		帝塚山	松山北	

⑤小論文試験の全体講評

令和3年度 小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

出題の意図は、現代社会の課題をテーマにし、アドミッション・ポリシーに則して、教養と基礎学力に加え、資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力を問うことにありました。現代社会の課題は広範で、一つの教科・科目には収まらなく、複数の教科・科目が重なり合って多かれ少なかれ関係していると言えます。

2. 採点・評価のポイント

出題は昨年度と同じく大問2題、出題形式は論述式でした。

問題1

問題1は英文を読む力と日本語の文章を書く力の両方を問う問題でした。英文の要約は一つのセンテンスあるいはパラグラフを直訳することではありません。また、英文に書かれていないことや自分が考えていることを書くものでもありません。要約は、英文が何を主張しているのかを把握し、その主張を中心にして英文全体の内容が含まれるように書かなければいけません。そして、もっとも大切なこととして、要約は日本語の文章として完結していなければいけません。解答用紙に書いた要約文を必ず読み直してください。

解答には字数の上限が課されていますから、書く内容を適切に取捨選択しなければいけません。たとえば、事例は主張を補強するために用いられます。限られた字数で書かなければいけない要約ですから、事例ではなく、筆者の主張を書くことが評価のポイントになります。

文章を「要約する」とはということなのかを考えながら学習してください。英文に限らず、新聞の社説などを読んで要約するという学習は文章を書く力だけでなく、読む力も養成します。

問題2

問題2は図表が何を示しているのかを簡潔に説明できる力と、図表から何が読み取れるのかを論理的に記述できる力を問う問題でした。何かを伝えようとするとき、図表を用いることがあります。図表が有力な手段になるからです。しかし、図表は見ればわかる、ということではなく、図表をどのように見るのかについて、簡潔な文章に表すことが求められます。

図表を見てわかることは結果です。それが「説明しなさい」で問われていることです。説明が求められている解答では、推測（と思う）や考察（と考える）の記述は適切ではありません。また、グラフの説明として、縦軸や横軸が何で、何がどんな色で、どのように描かれているかなどは、必要になるときがありますが、ここでの解答には必要ありません。必要のない記述に文字数を使わないようにしましょう。

結果には原因があります。原因は図表から推測することになります。そこでは、複数の教科・科目から得ている知識を駆使し、論理を展開することが求められます。推測される原因は一つではありませんから、正解もまた一つではありません。

評価のポイントは、問題が何を求めているのか、結果の説明なのか、原因の推測なのか、問題文を注意深く読んで、題意に則して簡潔に解答できているかどうかです。

福知山公立大学入試委員会

令和3年3月31日

⑥学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題1 次の英文の要約を200字以内の日本語で書きなさい。

Japanese people have taken to wearing face masks during the pandemic, but the main reason for doing so has more to do with going along with others than preventing the coronavirus from spreading, a new study says.

Peer pressure emerged as the dominant factor for wearing face masks amid the health crisis in Japan, according to the results of a survey administered by academics.

A research group headed by Kazuya Nakayachi, a professor at Doshisha University's Faculty of Psychology, published its findings in the Swiss scientific journal *Frontiers in Psychology* on Aug. 4.

"Wearing masks is recommended to stop the virus from spreading to others, but our research suggests wearers rarely use masks for that purpose," Nakayachi said. "Most of them simply want to don masks just because others do."

The researchers surveyed 1,000 Japanese citizens online in March about how often and why they wear face coverings.

The survey found that most people wear the protective gear, even though masks offer the wearers themselves limited protection.

The results show a majority of respondents, or 51.2 percent, said they "usually" wear masks amid the pandemic, followed by 31.4 percent who said they "sometimes" wear them. Only 17.4 percent said they do "not at all" wear masks.

The survey quizzed respondents in six areas: the danger of contracting the virus; preventing oneself from becoming infected; protecting others from infection; taking the maximum possible precautions against the virus; peer pressure; and easing anxiety.

Respondents rated their reasons for wearing masks on a scale of 1 to 5, with 5 points representing the reason that "best explains" their motive, while 1 point would signal that they do "not at all" agree with the statement.

The most popular answer was "peer pressure," which averaged 3.47 points.

The least likely reason was "preventing one's own infection," which garnered the lowest average score of 2.57.

The academics also studied the association between respondents' answers across the six topics and the frequency with which they reported wearing masks. The study authors discovered that the practice of donning masks is strongly connected to "peer pressure."

Although face masks are intended to protect others from infection, the connection with that reason was extremely weak.

Nakayachi noted the results should be cautiously assessed by policy makers.

"The tendency to be affected by peer pressure can be taken advantage of in developing anti-coronavirus measures," he said. "But that might urge people to watch one another too much, so careful consideration must be paid."

(出典：JAPAN NEWS：Japanese wear face masks, but the main reason is just to fit in, The Asahi Shimbun, August 31, 2020, 原文のまま)

1

2

問題2 次の二つの図は『消費者白書』「第1部第2章 つくる責任、つかう責任、減らす責任～食品ロス削減～持続可能な社会のために～」からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

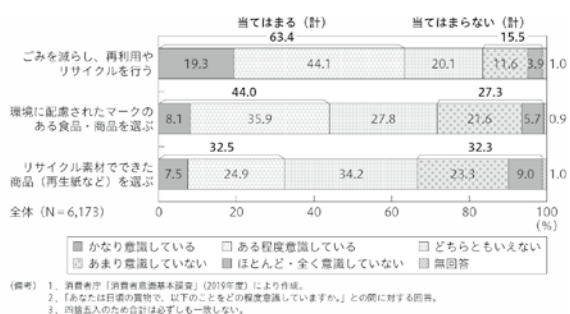


図1 日頃の買い物で意識していること(環境問題関係)

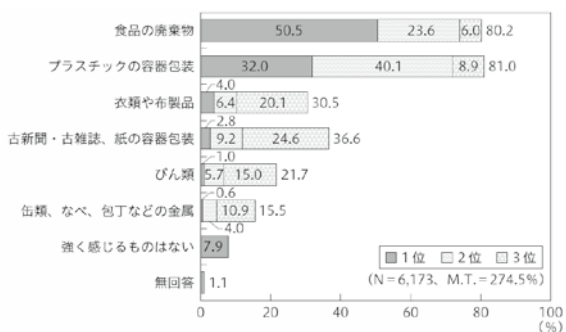


図2 捨てる量を減らさなければならないと強く感じるもの(1位が多い順)

3

4

⑦一般選抜前期日程 小論文試験問題

問題1 次の英文の要約を200字以内の日本語で書きなさい。

New basic principles in the central government's policy aimed at revitalizing local economies have given the public the impression that the government has backed down from its goal of rectifying the lopsided concentration of the population in Japan's capital.

The Cabinet of Prime Minister Shinzo Abe has worked on the revitalization of local economies under a five-year plan that began in fiscal 2015. The government has spent over 800 billion yen in taxpayers' money to subsidize projects implemented by local bodies to vitalize their local economies.

However, these efforts have not produced tangible results. In particular, the government has failed to achieve its goal of striking a balance between population inflows and outflows in the Tokyo metropolitan area and regional areas across the country, which it hoped to accomplish by 2020. People who moved into Tokyo and three surrounding prefectures outnumbered those who moved out of the metropolitan area by some 140,000 in 2018, demonstrating that the population concentration in Tokyo is progressing.

The government will extend the period for implementing its policy of revitalizing local economies by five years after fiscal 2020. The new basic principles will serve as guidelines for measures to be implemented under the policy over the ensuing five years. Nevertheless, they do not specify the target year for achieving a balance between population influxes and outflows even though they state that the government will work toward that goal.

The new principles state that Japan should attach more importance to urban dwellers' interaction with people in regional areas on weekends and other occasions without moving into such areas. It is a good idea, but it appears that the government has only made the proposal because of a lack of progress in rectifying the population concentration in Tokyo.

First and foremost, the government should examine the efficacy of the policy measures it has implemented so far to rectify the population concentration. These include efforts to look for potential tourism resources,

which have helped increase the number of inbound tourists, but questions remain as to how far such efforts have contributed to maintaining balanced populations.

The government attributes the influx of people into the Tokyo metropolitan area largely to the movement of younger women from key regional cities, such as the central Japan city of Nagoya and Sendai in northeastern Japan.

Since the environment for childrearing in Tokyo is tough, the concentration of women in the capital has caused the nationwide birth rate to decline.

Critics have pointed out that there are not enough regular jobs for women in regional areas. Therefore, the government needs to rework its strategy to help balance populations.

What must be kept in mind is that local governments also need to respond to the ongoing population decline. It is becoming increasingly difficult for local bodies in depopulated areas to run waterworks on their own. The operation of elementary schools is similarly getting more and more difficult. Officials urgently need to work out measures to help such local governments to downscale and streamline local communities amid a spike in the number of vacant lots and houses.

It is essential to implement measures to slow down population declines in regional areas as much as possible. At the same time, the central and local governments must squarely face the fact that the population fall is inevitable.

(出典：EDITORIAL：Gov't approach to population concentration in Tokyo raises questions, The Mainichi, July 27, 2019, 原文のまま)

1

2

問題2 次の二つの図は『平成28年度 食料・農業・農村白書』からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

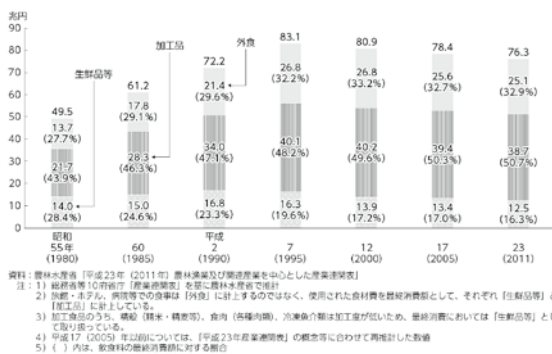


図1 飲食物料の最終消費額とその内訳



図2 消費水準指数

設問

問1 図1の説明を120字以内で書きなさい。

問2 図2の説明を80字以内で書きなさい。

問3 図1、図2を踏まえて、「食」の変化について、200字以内で書きなさい。

3

4

情報学部

令和4年度 選抜区分詳細

情報学部 一般選抜 前期日程(5教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月24日(月)～2月4日(金)	2月25日(金)	3月8日(火)	3月10日(木)～ 3月15日(火)

2 募集人員

情報学科 40名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格を有し、本学が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

(1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。

志願票の所定欄に令和4年度大学入学共通テスト成績請求票（国公立前期日程用）を貼り付けてください。

(2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

5 選抜方法【大学入学共通テスト5教科6科目又は7科目及び個別学力検査】

- ・次に示す大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績を総合して合否判定します。
- ・合否ラインに受験者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用します。調査書は、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。

	教科	科目	配点
大学入学共通テスト 利用教科・科目・配点	数学	「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」	150点 150点
	国語	「国語」	200点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 200点
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	から2 又は から1 200点
	外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
	合計		1100点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合も、いずれかの高得点科目を採用します。ただし理科の基礎を付した科目については2科目の合計点を1科目の得点として取り扱います。

個別学力検査	科目	内容	配点
	小論文	主として情報通信技術と地域社会の関係について出題し、思考力、判断力、表現力を総合的に評価する。	200点

6 試験時間割

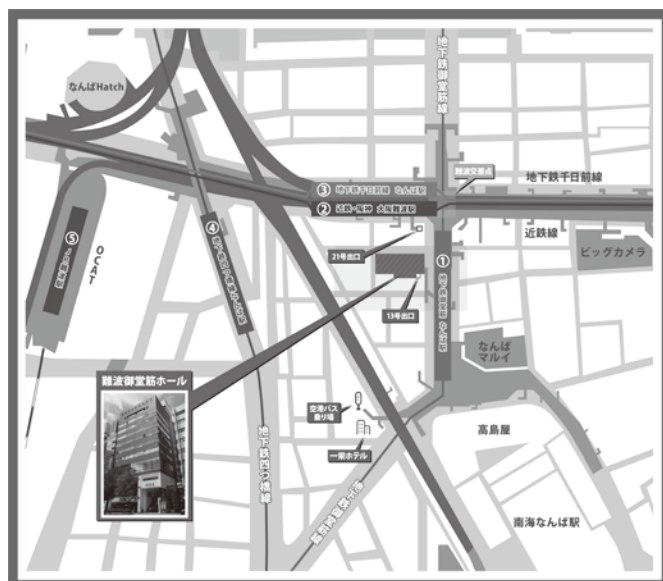
8時10分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付等はいきませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

当選抜では本学会場又は大阪会場で受験できます。出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、大阪会場で受験できない可能性があります。受験票記載の試験会場を、必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
巻末を参照してください。
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）
下記を参照してください。



〈アクセス〉

- (1)地下鉄御堂筋線「なんば駅」13号出口直結
- (2)近鉄難波線「大阪難波駅」より徒歩1分
- (3)JR「難波駅」より徒歩7分

情報学部 一般選抜 前期日程(3教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月24日(月)～2月4日(金)	2月25日(金)	3月8日(火)	3月10日(木)～ 3月15日(火)

2 募集人員

情報学科 15名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格を有し、本学が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

(1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。

志願票の所定欄に令和4年度大学入学共通テスト成績請求票(国公立前期日程用)を貼り付けてください。

(2)調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

5 選抜方法【大学入学共通テスト3教科4科目又は5科目及び個別学力検査】

- ・次に示す大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績を総合して合否判定します。
- ・合否ラインに受験者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用します。調査書は、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。

大学入学共通テスト 利用教科・科目・配点	教科	科目	配点
	数学	「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」	100点 100点
	国語	「国語」	高得点 2教科
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 } から2 又は 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 } から1	
	外国語	「英語」(リーディング100点及びリスニング100点)	200点 200点
	合計		600点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合も、いずれかの高得点科目を採用します。ただし理科の基礎を付した科目については2科目の合計点を1科目の得点として取り扱います。

個別学力検査	科目	内容	配点
	小論文	主として情報通信技術と地域社会の関係について出題し、思考力、判断力、表現力を総合的に評価する。	300点

6 試験時間割

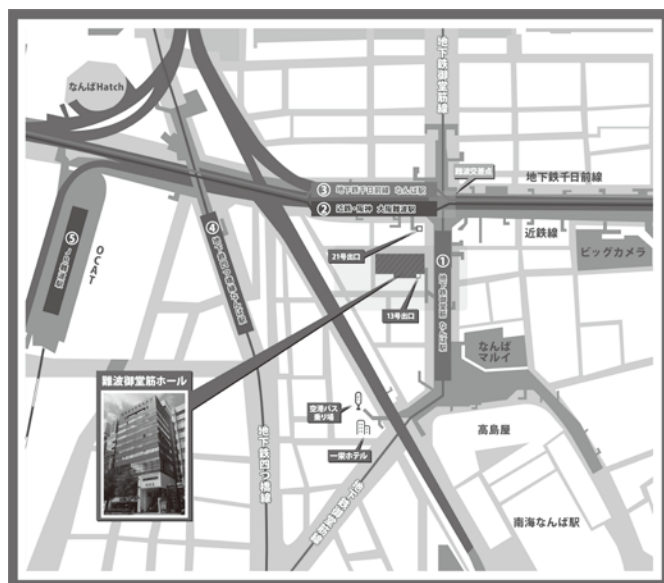
8時10分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付等はいきませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

当選抜では本学会場又は大阪会場で受験できます。出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、大阪会場で受験できない可能性があります。受験票記載の試験会場を、必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
巻末を参照してください。
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）
下記を参照してください。



〈アクセス〉

- (1)地下鉄御堂筋線「なんば駅」13号出口直結
- (2)近鉄難波線「大阪難波駅」より徒歩1分
- (3)JR「難波駅」より徒歩7分

情報学部 一般選抜 後期日程

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月24日(月)～2月4日(金)	3月12日(土)	3月21日(月)	3月23日(水)～ 3月27日(日)

2 募集人員

情報学科 10名

3 出願資格

4ページ記載の出願資格を有し、本学が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

(1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。

志願票の所定欄に令和4年度大学入学共通テスト成績請求票（国公立後期日程用）を貼り付けてください。

(2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

5 選抜方法【大学入学共通テスト5教科6科目又は7科目及び個別学力検査】

- ・次に示す大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績を総合して合否判定します。
- ・合否ラインに受験者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用します。調査書は、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。

大学入学共通テスト 利用教科・科目・配点	教科	科目	配点
	数学	「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」	150点 150点
	国語	「国語」	高得点 3教科 200点 200点 200点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」 } から2 又は 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 } から1	
	外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
	合計	※数学に加えて4教科の中から高得点3教科で合否判定します。	

- ・合否判定は数学に加えて高得点3教科で行いますが、4教科の中から高得点3教科を選択するため、4教科の各指定科目の受験が必須となります。
- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合も、いずれかの高得点科目を採用します。ただし理科の基礎を付した科目については2科目の合計点を1科目の得点として取り扱います。

個別学力検査	科目	内容	配点
	小論文	主として情報通信技術と地域社会の関係について出題し、思考力、判断力、表現力を総合的に評価する。	200点

6 試験時間割

13時00分	14時30分	15時00分～16時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付等はいませんので、14時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
 巻末を参照してください。

情報学部 学校推薦型選抜

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(月)～11月5日(金)	11月21日(日)	12月3日(金)	12月6日(月)～ 12月10日(金)

2 募集人員

情報学科 全国枠20名、地域枠10名、専門学科枠5名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」「全国枠」としての選抜対象にもなります。を設定しています。又、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

全国枠は次の(1)～(4)の全てを満たす者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者（単位制高等学校等で令和3年度の途中に卒業する者を含む。なお、過年度生等の出願は不可とする）
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)学校長が推薦する者
- (4)全体の評定平均値が3.8以上の者

※1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

【地域枠の出願資格】

上記の全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ下記の市町に所在する高等学校の生徒とする。

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠の出願資格】

上記の全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ下記を満たす者とする。

- ・工業、商業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者

※各枠の出願資格を有する場合は、いずれの枠での出願も可能です。

4 出願書類

- (1)志願票 ※Web出願サイトに登録し、印刷してください。
- (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
- (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）※本学ホームページからダウンロードしてください。
- (4)自己アピール書（本学所定の様式による）※本学ホームページからダウンロードしてください。

5 選抜方法【小論文、面接及び書類審査】

小論文、面接及び書類審査の成績を総合して合否判定します。

選抜方法	内容	配点
小論文	主として情報通信技術と地域社会の関係について出題し、思考力、判断力、表現力を総合的に評価する。	50点
面接	30分間程度のグループ面接を行う。グループ・ディスカッションではない。	50点
書類審査	学校長推薦書、自己アピール書、調査書を総合的に評価する。	50点

6 試験時間割

8時10分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付等はいませんので、9時30分までに指定された席に着席してください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始後30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・12時45分までに指定席に着席をしていない場合は面接試験の受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
巻末を参照してください。

情報学部
令和3年度 入試結果

情報学部 令和3年度入試実施状況

①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
情報学部・情報学科	推薦	全国枠	20	31 (8)	30 (8)	20 (6)	20 (6)
		地域枠	10	8 (1)	8 (1)	8 (1)	8 (1)
		専門学科枠	5	22 (3)	22 (3)	9 (1)	9 (1)
	一般	前期日程 (5教科型)	40	107 (22)	96 (19)	48 (12)	39 (8)
		前期日程 (3教科型)	15	37 (9)	35 (9)	19 (5)	17 (5)
		後期日程	10	85 (18)	37 (4)	15 (3)	10 (2)
		合計	100	290 (61)	228 (44)	119 (28)	103 (23)

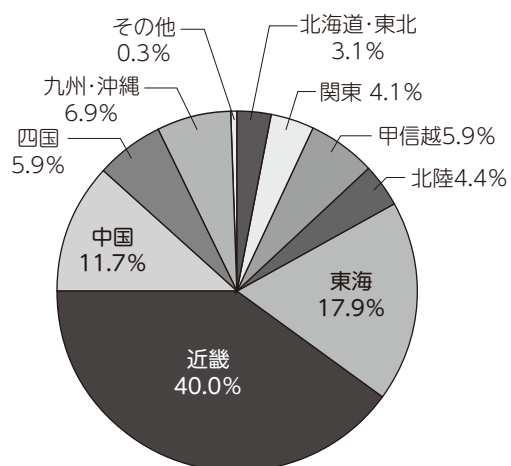
() 内は女子で内数

②一般選抜合格者最高点・最低点・平均点・得点率

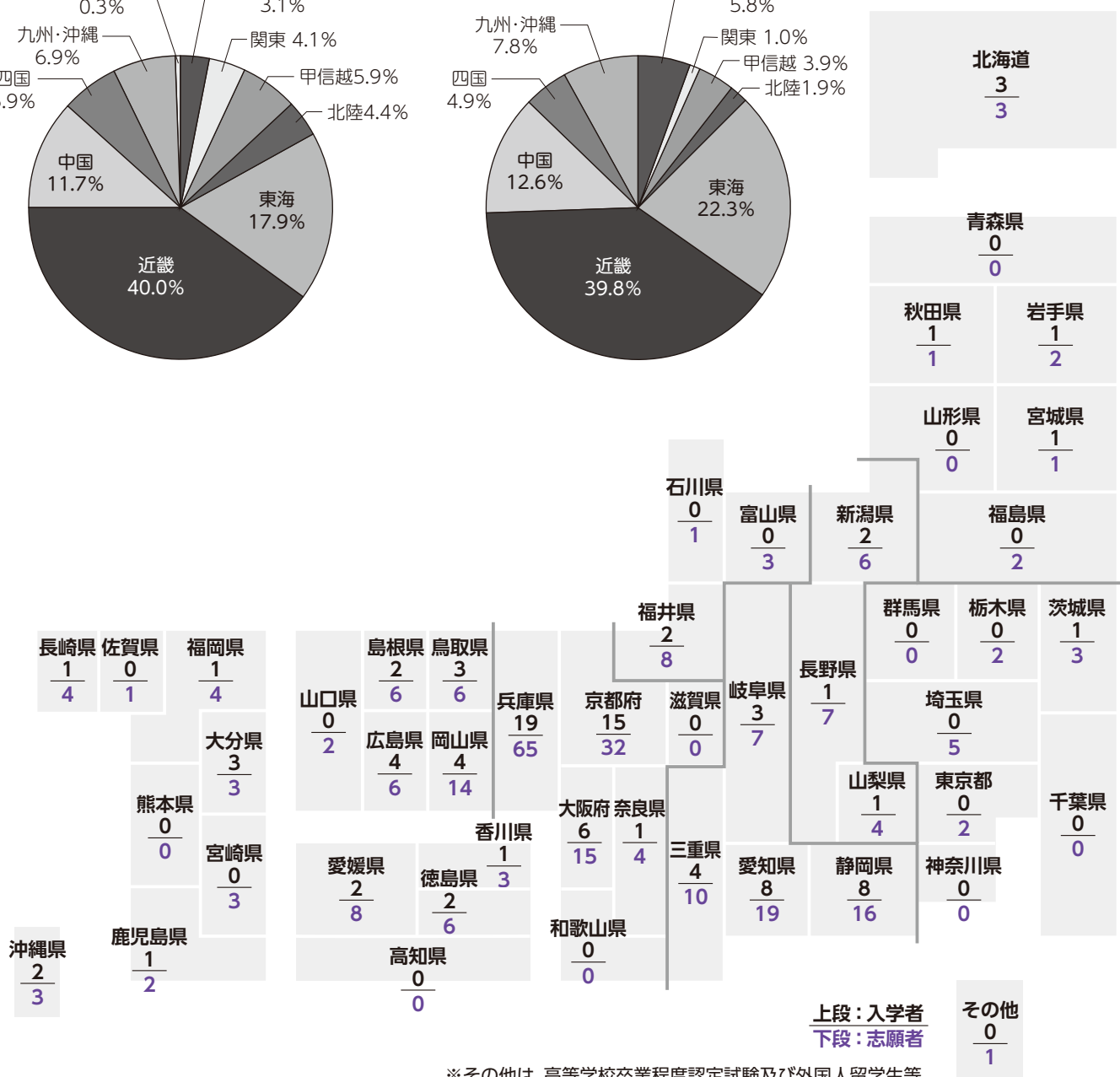
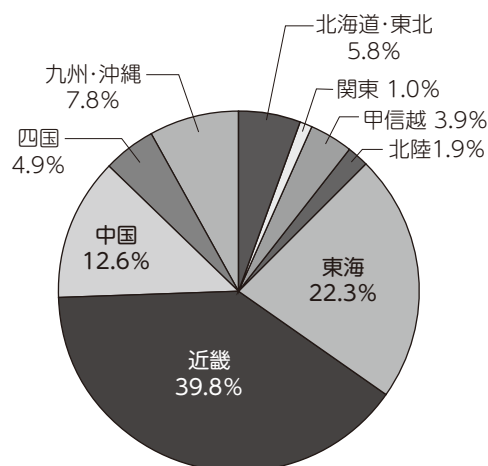
学科	選抜区分	共通テスト 配点	個別試験 配点	総合計	共通テスト			個別試験			総点		
					最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
情報学科	前期日程 (5教科型)	1100	200	1300	738.5 67.1%	549.0 49.9%	657.0 59.7%	172.5 86.3%	55.0 27.5%	102.5 51.3%	870.0 66.9%	688.0 52.9%	759.5 58.4%
	前期日程 (3教科型)	600	300	900	450.0 75.0%	311.0 51.8%	379.8 63.3%	202.5 67.5%	90.0 30.0%	141.9 47.3%	590.0 65.6%	480.3 53.4%	521.8 58.0%
	後期日程	900	200	1100	712.0 79.1%	541.5 60.2%	620.3 68.9%	120.0 60.0%	5.0 2.5%	73.0 36.5%	787.0 71.5%	632.5 57.5%	693.3 63.0%

③地区別（都道府県）出願・入学状況

■地区別出願状況（290人）



■地区別入学状況（103人）



※その他は、高等学校卒業程度認定試験及び外国人留学生等

④志願者出身高校一覧

北海道	岐阜県	福知山	網干	山口県
北見北斗	岐阜	西舞鶴	三木北	豊浦
札幌稲雲	大垣北	大江	川西北陵	下関南
岩手県	大垣東	加悦谷	明石城西	徳島県
花巻北	大垣商業	峰山	北摂三田	富岡西
宮城県	関	網野	三田西陵	脇町
仙台向山	斐太	塔南	三田祥雲館	城ノ内
秋田県	静岡県	洛西	武庫荘総合	香川県
湯沢	三島北	南陽	科学技術	志度
福島県	富士宮北	京都工学院	甲南	高松西
橘	清水東	大谷	甲南女子	高松中央
安達	焼津中央	東山	神戸第一	愛媛県
茨城県	藤枝東	龍谷大学付属平安	神戸星城	松山南
土浦第二	掛川東	洛星	奈良県	松山北
鹿島学園	浜松西	洛南	畝傍	八幡浜
栃木県	富士市立	京都成章	青翔	宇和島東
宇都宮女子	富士宮西	大阪府	一条	松山中央
佐野	下田	池田	智辯学園	今治東(中等教育学校)
埼玉県	科学技術	箕面	和歌山県	松山西(中等教育学校)
熊谷	星陵	四條畷	橋本	福岡県
熊谷西	藤枝明誠	高津	那賀	小倉
東京都	愛知県	興國	鳥取県	福智
豊島学院	一宮北	桃山学院	八頭	博多
藤村女子	安城東	浪速	倉吉東	福岡工業大学附属城東
新潟県	西尾	関西大倉	倉吉西	佐賀県
新津	小坂井	大阪産業大学附属	鳥取中央育英	伊万里
長岡	東海南	清風	鳥取城北	長崎県
高田北城	高蔵寺	金光八尾	島根県	佐世保北
糸魚川	豊田南	四天王寺東	松江北	佐世保西
国際情報	一宮興道	兵庫県	松江工業	海星
富山県	知立東	夢野台	出雲	大分県
泊	中部大学第一	星陵	出雲商業	大分舞鶴
富山第一	南山	尼崎小田	益田	中津南
石川県	三重県	伊丹(県立)	岡山県	大分南
金沢西	桑名	川西緑台	岡山芳泉	宮崎県
福井県	桑名西	柏原	倉敷青陵	高鍋
羽水	四日市南	篠山鳳鳴	倉敷商業	宮崎商業
福井商業	四日市西	明石南	玉島(県立)	都城商業
敦賀	津西	多可	新見	鹿児島県
若狹	津商業	西脇工業	倉敷古城池	甲南
丸岡	松阪商業	西脇北	岡山城東	楠幸
仁愛女子	鈴鹿	福岡	就実	沖縄県
山梨県	京都府	赤穂	明誠学院	名護
甲府第一	京都教育大学附属	上郡	広島県	那覇西
日川	北嵯峨	佐用	広島皆実	N
甲府西	桃山	山崎	尾道商業	
長野県	田辺	姫路商業	三原	
須坂	亀岡	八鹿	福山誠之館	
岩村田	園部	相生	比治山女子	
飯田	須知	西宮(市立)	A I C J	

令和3年度 情報学部小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

アドミッションポリシーに示される「地域社会に貢献する情報技術のあり方について自ら思考し表現共有する力」を評価することを目的とした出題です。情報通信技術（ICT）に関する文章を題材に文章の読解力、ICTに関する基礎的な知識と理解力および議論を展開する文章の作成力を問うています。

2. 採点のポイント

大問2問の論述式の出題でした。主に理解力を問う問題1と、議論を展開する文章の作成力を主に問う問題2からなっていました。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

設問1は、与えられたICTに関する文章の読解と技術の特性の理解についての問題です。理解したことを短い文章への適切に要約することが期待されます。題材の文章には、扱われているICTの技術を説明する文やその効果を説明する文が存在し、それらを論旨に沿う形で理解することが重要です。重要な箇所を抜き出しても、それを単純に復唱するだけでは適切とは言えません。また、たとえそれが説得力を有するものであっても、本文に書かれていない技術や課題に言及することも適切とは言えません。

設問2は、与えられた文章を題材に、主に地域社会の観点からICTの利活用について論じるものです。問題文にあるように「具体的な例」をあげ、その例に沿って回答することが求められています。

「ICT技術を使えば地域社会の将来は発展する」のような抽象的な回答や与えられた文章と無関係なICTの例を引き合いに出すことは適切ではありません。また、ICTの利活用が地域にもたらす発展の可能性と不安や課題の解決のあり方について、それぞれの考えを明快に述べることが重要です。

問題2

問題2では、与えられたICTに関する文章を読解し、設問で問われたことについて、自分の考えを述べることが求められています。自分自身の考えを論じるためには、その考えを支持するに足る「根拠」を示すことおよび、その根拠を確かなものとするための「事例」を提示することが期待されます。その際に、反対の考えや反例を提示して適切に比較することが重要です。また、文章が取り上げているICT技術が及ぼす影響について、その技術の特性を把握した上での議論が求められています。

これらの考えを記述することにおいて、唯一の明らかな答えはありません。評価のポイントは、議論の明快さやその展開の適切さです。なお、考えを述べる対象は設問に指定されている事柄です。この範囲を逸脱した議論、例えば、一般的なICTの将来性や課題などを論じることは、述べている考えの対象やその論旨を曖昧にしまい、適切ではありません。

福知山公立大学入試委員会

令和3年3月31日

⑥学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題1 次の文章は、『日本経済新聞』（2020年7月7日付、地方経済面 千葉）からの引用である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

NTT東日本千葉事業部は無線機器開発のワイヤレスデザイン（千葉県船橋市）などと組み、水田の水位を遠隔監視する実験を始めた。水田に設置したセンサーが24時間体制で水位を計測。異常を感知した場合はスマートフォンに通知する。あらゆるモノをネットにつなぐ「IoT」を活用し、人力に頼っていた作業を効率化する。

IoT事業を手がけるIoTBASE（アイオーティベース、東京・豊島）を含む3社で、水田監視用のセンサーを共同開発した。千葉県いすみ市の「つるかめ農園」が管理する水田に設置し、現場での実証試験を開始した。

水田の端に埋め込んだ高さ1メートルのセンサーで24時間体制で水位を自動的に計測する。水位の情報はリアルタイムでパソコンやタブレット上で確認できる。水位が急激に上下し、生育に支障が出る状況になった場合はLINEを通じてスマホに通知する。

水田の水位管理はコメの品質を左右する重要な作業の一つとされる。漏水などで水位が下がると雑草が成長しやすくなり、水稲の生育を阻害するためだ。

これまで水位の確認作業はマンパワーに頼る部分が大きかった。つるかめ農園の場合、約40カ所点在する水田を担当者1～2人が朝晩の2回、目視で確認していた。移動だけでも時間がかかり、水位に異常がなくても作業に1日数時間を要していた。

遠隔監視システムが機能すれば見回りの手間が減り、ほかの作業に時間を充てられる。「目視に頼らないため、繁忙期に雇用するアルバイトや新規就農者でも簡単に水田の状態を確認できる効果も期待できそう」（つるかめ農園）という。

2020年産の収穫が終わる10月まで実証試験を続け、作業負担の軽減効果などを分析する。分析を踏まえ、21年度中の実用化を目指す。具体的な販売方法は今後詰めるが、パッケージとして販売する場合は数万円程度に抑えたい考えだ。NTT東の担当者は「農業従事者が気軽に導入できる商品にしたい」と話している。

設 問

問1 この文章に代表されるようなICT（情報通信技術）の利活用により、どのような課題が解決できるのか、120字以内で書きなさい。

問2 この文章に代表されるようなICTの利活用が、地域社会の将来にどのような発展をもたらしうなのか、またこのようなICTの導入が引き起こすかもしれない社会的不安や問題をどのように解決すべきか、この2点について具体的な例を示しながら、あなたの考えを240字以内で書きなさい。

1

⑦一般選抜前期日程 小論文試験問題

問題1 次の文章は、『日経産業新聞』（2020年5月12日付）からの引用（一部抜粋、一部改変）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

次世代無線技術の1つ「LPWA」の商用化が始まった。高速大容量の「5G」とは対照的に通信量は小さいが、省電力・広域通信が特徴で、携帯電波が届かないような山間部でも利用可能だ。公立諏訪東京理科大学（長野県茅野市）を中心とする産学公連携グループはLPWAの大規模実証試験に取り組んでおり、普及への足がかりをつかみつつある。（中略）

キーとなるLPWAは携帯の電波に比べて広域通信が可能で、消費電力も小さい。通信可能距離は最大で約100キロメートルとされており、実証試験の舞台となっている茅野市でも20キロメートルは可能という。一方、携帯電話の電波の届く距離は、条件によって異なるが500メートルから2キロメートル程度とされる。携帯が利用できない山岳地域で威力を発揮しそうだ。

グループが試作した装置は、太陽電池で駆動する従来の河川水位計測装置に比べて安価で、4分の1程度のコストで済むとみている。茅野市内5カ所に6台設置して性能などを確認中だ。

2020年度は水害被害の軽減を目指して河川水位の事前予測システムに発展させる計画だ。収集した水位データを雨量計のデータとともに人工知能（AI）で解析する。河川の下流域にある市街地の河川水位が、どこまで上昇するのか事前に予測する。（中略）

現場で広く利用してもらうためのアイデアも欠かせない。実証試験は技術の確認だけで終わってしまうことも多い。公立諏訪東京理科大学の小林誠司・特任教授も「LPWAの技術とは違うところで苦労がある」と話す。

例えば高齢者の位置把握システムでは、認知症の人でも携帯してもらえる工夫をこらした。地元の発想で、LPWAの発信装置を伝統工芸品の製織（さきおり）などで作った「お守り袋」に入れ、試してもらう計画だ。

農業用ハウスの温度の遠隔計測では、太陽の日射が当たって異常な高温を示すことがあった。気象用温度計はファンを回すが、低消費電力というLPWAの特徴を生かせない。そこで短時間だけファンを回して温度の低下傾向を予測し、正確な温度を計測できる技術を考案し、実証試験を繰り返す。

設 問

問1 この文章に代表されるようなICT（情報通信技術）の利活用により、どのような課題が解決できるのか、120字以内で書きなさい。

問2 この文章に代表されるようなICTの利活用が、地域社会の将来にどのような発展をもたらしうのか、またこのようなICTの導入が引き起こすかもしれない社会的不安や問題をどのように解決すべきか、この2点について具体的な例を示しながら、あなたの考えを240字以内で書きなさい。

1

問題2 次の文章は、『日本経済新聞』（2020年7月6日付、朝刊）からの引用（一部抜粋、一部改変）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

コンピューターで翻訳や通訳をこなす自動翻訳（機械翻訳）の性能が上がってきた。人工知能（AI）を巧みに使う第3世代の翻訳アルゴリズムが登場したうえ、翻訳手法をユーザーごとに設定する取り組みも進み、翻訳の精度が格段に向上した。5年後には同時通訳並みの性能も実現できると期待される。

自動翻訳は言葉の壁をなくすことで外国人労働者など海外の人材とコミュニケーションをとったり、国境を越えたプラットフォームビジネス[※]も展開したりしやすくなる。

2016年には米グーグルがAIの一つである深層学習（ディープラーニング）を使った「ニューラル翻訳」をインターネット上で公開した。同時期に米マイクロソフトや情報通信研究機構（NICT）もニューラル翻訳を採用。それまで主流だった大量のデータから作った統計モデルを用いる統計翻訳と比べ、翻訳精度が飛躍的に向上した。

初期のニューラル翻訳は深層学習の一種「再帰型ニューラルネットワーク」（RNN）を使った。続いて登場したのが、「トランスフォーマー」と呼ばれる第2世代のアルゴリズムで、19年ころから普及した。

トランスフォーマーはある単語の翻訳結果を決めるとき、その前後のどの単語に注目すればよいかを考慮する「注意機構」というAIの仕組みを盛り込んでいる。

自動翻訳の最終形といえるのが同時通訳システムだ。同時通訳は話者がしゃべり続ける途中で翻訳を始めるタイミングを判断したり文脈を考慮したりするなど、逐次通訳にはない高度な技術が必要となる。今年度、NICTなどが参加して総務省の「グローバルコミュニケーション計画2025」がスタート。実用レベルの同時通訳システムを今後5年かけて開発する。

※ プラットフォームビジネスにおけるプラットフォームは、インターネット上などに設けられる複数の事業者が利用できるビジネスの場を指す。

設 問

ここに書かれているように、人工知能の発展は多言語間の翻訳性能を向上させ、言語の壁をこえたコミュニケーションの可能性をもたらしている。また、言葉の壁をなくすことには、ビジネスや働き方を大きく変える可能性がある。このようなコミュニケーションが可能になることは、地域の課題を解決することにもどのように役立つか、また、どのような限界があるか。このことについて、あなたの考えを300字以内で書きなさい。

2

問題2 次の文章は、『日本経済新聞』（2019年6月25日付、夕刊）からの引用（一部抜粋）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

文部科学省は25日、中小高校や特別支援学校の教育にビッグデータや先端的な情報通信技術（ICT）を活用する計画を公表した。2025年度までに児童生徒1人につき1台の教育用のパソコンやタブレットが利用できる環境を整備するなどとした工程表を示した。多様化する子供の個性に合わせた指導ができるようにし、情報化社会で求められる創造性のある人材の育成につなげる。

人工知能（AI）やロボット技術が発達する中、新たな知を発見・創造できる人材は不可欠になっている。同省は、教室で同じ内容を一齐に教える従来型の指導では、急速に進む情報化の中で個々の子供の強みを伸ばすのは難しいとみている。

教育用のパソコンなども、同省が18年3月に全国の公立小中学校、高校を対象に実施した調査では1台当たりの児童生徒数が平均5・6人と、十分に整備が進んでいない状況だった。欧米では教育現場でICTやビッグデータが活用されており、日本も本格的に進める必要があると判断した。

同省は、教育に関するビッグデータとして、子供の氏名や性別、健康状況、定期テストの結果や評定、出欠・遅刻・早退の状況、デジタル教科書の参照履歴、授業での発話回数、ドリルの解答状況などを全国的に集めることを計画している。

集めた学習活動などのデータはAIで分析し、個々の子供の興味・関心や得意な分野などに応じたきめ細かな指導につなげる。データをもとに子供が自発的な学習をするのに最適な教材を薦めたり、苦手分野を学び直すためのオーダーメイドのドリルを作成したりすることを想定している。

デジタル教科書や仮想現実（VR）、拡張現実（AR）なども創造性を伸ばすために活用する。デジタルコンテンツや映像を使うことで理解を手助けするとともに、興味ある分野をより深く学べるようにする。遠隔教育を拡充して専門家や海外の研究者ら多様な人材から学び、最先端の知見に触れる機会もつくる。

国や研究機関は、テスト結果などのデータを各学年で学ぶ内容を定めた学習指導要領の改訂など教育施策の改善に使う。データを分析して子供の理解が進んでいない項目を浮かび上げらせ、指導方法を見直したり教える学年を後ろ倒しにしたりすることを検討する。

設 問

ここに書かれているように、教育においてICTの活用が計画され、デジタルコンテンツ活用による理解の手助けや遠隔教育の拡充などが期待されている。また、学習活動などのデータをもとにした教育の個別化や学習指導要領の改訂など国の教育施策の改善が期待されている。このようなICTの利活用による学びの環境の変化について、あなたの考えを300字以内で書きなさい。

2

合格発表及び入学手続等

合格発表

1 発表方法

- (1) ホームページによる掲載
合格発表日当日の13時00分に、本学ホームページにて「合格者受験番号一覧表」を掲載します。
- (2) 合格者への資料の送付
 - (ア) 合格者には、合格発表日当日、本人宛に合格通知書及び入学手続き書類を速達郵便で発送します。合格発表日の翌々日までに届かない場合は、本学入試係までお問い合わせください。なお、不合格者への通知は行いません。
 - (イ) 学校推薦型選抜については本人宛の合格通知のほか、出身学校長宛に合否結果通知書を送付します。
- (3) 電話等による合否の問い合わせについては一切応じません。

2 欠員補充の方法

- (1) 追加合格
合格者の入学手続きの結果、欠員が生じた場合に限り合格者を追加することがあります。ただし、一般選抜の前日程及び後期日程の不合格者で他の国公立大学・学部（独自日程で選抜試験を行う公立大学・学部を除く）に入学手続きを行っていない者が対象となります。なお、前もって追加合格者としての通知は行いません。
 - (ア) 追加合格の実施の有無については、令和4年3月27日（日）中に、本学ホームページに掲載します。
 - (イ) 令和4年3月28日（月）以降、該当者へ志願票に記載されている連絡先に電話で追加合格の通知を行います。その際、最初の電話連絡から1時間以内に速やかに入学意思の確認ができる者（志願者本人又は責任をもって返答のできる者）が対応してください。
 - (ウ) 本学から追加合格対象者として通知を受けても、既に他の国公立大学・学部（独自日程で選抜試験を行う公立大学・学部を除く）に入学手続きをしている者は、これを取り消して本学に入学することはできません。
 - (エ) 最初の電話連絡から1時間以内に不在や入学意思の確認ができない場合は、追加合格とはしません。
 - (オ) 追加合格者の発表は行いません。又、追加合格通知についての問い合わせには一切応じません。
- (2) 欠員補充第2次募集
追加合格による欠員補充を行ってもなお入学定員に満たない場合、第2次募集を行う場合があります。その場合は、本学ホームページに募集の詳細を掲載します。

選抜の個人成績開示

令和4年度の一般選抜前日程及び後期日程については、受験者本人から申請があった場合に限り、当該受験者の個人成績を以下の方法で開示します。

1 開示内容

個人の得点及び総合得点

2 申請受付期間

令和4年5月1日（日）～5月31日（火）

※期間内の消印有効です。

3 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は認めません）

4 申請方法 ※郵送のみの申請となります。

本学あてに下記の書類等を郵送してください。（必ず受験者本人が申し込んでください）

- ①申請書（申請期間前に本学ホームページに様式を掲載します）
- ②長形3号サイズの返信用封筒（404円分の切手を貼り、受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記したもの）
- ③本学受験票の原本
※本学受験票を紛失した場合、成績開示の申請はできません。

5 開示方法

申請受付期間終了後に指定された住所へ簡易書留にて郵送します。

入学手続

1 入学手続

- (1) 合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を送付します。
- (2) 合格者で、入学意思のある者は、入学手続期間内に必ず次の手続を完了してください。
 - (ア) 入学手続書類の提出
 - (イ) 入学金の納入 ※学納金については次ページを参照してください。
- (3) 各入学手続期間内に手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなし、入学を許可しません。学校推薦型選抜の合格者は必ず入学手続をしてください。
- (4) 本学の入学手続を完了した者は、他の国公立大学・学部（独自日程で選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 一旦提出された書類及び入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
- (6) 入学手続に関する詳細は、入学手続書類を送付する際にお知らせします。

2 入学手続締切日

選抜区分ごとに、入学手続の締切日を定めています。各選抜区分の詳細で確認の上、締切日までに入学手続を行ってください。

3 入学金の納入方法

合格者へ送付する所定の振込依頼書により、最寄りの銀行、信用金庫等から「電信扱」で振り込んでください（ゆうちょ銀行からの振り込みはできません）。なお、ATM（現金自動預払機）を使って振り込みをしないようにしてください。

4 入学辞退

- (1) 入学手続完了者で、入学を辞退する場合は、必ず本学入試係まで連絡の上、入学辞退届を令和4年3月31日（木）までに到着するように提出してください。入学辞退届は本学ホームページからダウンロードしてください。この場合、入学金の返還は行いません。なお、令和4年4月以降に入学辞退届を受領しても、入学辞退者としては取り扱いませんので注意してください。
- (2) 学校推薦型選抜の合格者については、その選抜の趣旨から入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別な事情がある場合は、出身高等学校から令和4年2月21日（月）までに到着するように「推薦入学辞退願（任意様式）」を提出し、その許可を得た場合に限り、入学辞退を認めます。この場合、必ず事前に本学入試係まで連絡をしてください。なお、入学金の返還は行いません。

初年度納入金

1 学納金

学納金は下表のとおりです。入学金は入学手続き時のみの納入となります。授業料等の納入については入学手続き時にご案内します。在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

	入学金	授業料	実践・実習教育費等
入学手続き時	282,000 円	—	—
前学期分 (毎年4月末納入)	—	267,900 円	20,000 円
後学期分 (毎年9月末納入)	—	267,900 円	20,000 円

2 諸経費（前年度実績）

上記学納金以外に学生教育研究災害傷害保険（4年間4,660円）、教育後援会費（年間10,000円）、学友会費（年間5,000円）の各4年間分の経費として64,660円を初年度前学期分に徴収します。

3 パソコンの購入について（情報学部入学者のみ）

情報学部では、多くの授業でパソコンを使用します。個人所有のノートパソコンを使用しますので、入学までに各自でご準備（購入等）願います。パソコンのスペック等につきましては入学手続き時に案内しますが、費用は概ね200,000円程度となる見込みです。

なお、地域経営学部入学者についてはパソコンの購入を必須としていませんが購入を推奨します。

4 福知山公立大学入学支援交付金について（前年度実績、福知山市民のみ対象）

入学者又は本人の配偶者もしくは本人の一親等の尊属が、入学の日の1年前から引き続き福知山市に住所を有する方は、入学金の1/3相当額（94,000円）を還付します。ただし以下5の高等教育の修学支援新制度で給付奨学生となった場合は、該当となりません。

当制度は、この期間に福知山市に住所を有していた証明書（住民票等）の提出が必要になります。詳細は本学入学後に案内します。

ただし福知山市の議決を経て決定するものであり、内容は予告なく変更する場合があります。

5 高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構）による学納金の減免及び猶予について

高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金予約採用手続きを行い、採用候補者となった方については、所定の手続きにより、入学金を減免し、その納入期間を入学後の6月下旬まで猶予します。又、授業料についても同様に減免及び猶予します。給付奨学金予約採用手続きを行っていない場合でも、入学後に申し込みを行い給付奨学生となった場合は、同様の措置を行います（入学金は還付）。詳細は合格通知の際に案内します。

よくある質問

1 過去問題について

Q 小論文試験の過去問題を見ることはできますか？

A 本学で実施した小論文試験問題は本学ホームページで公開しています。又、前年度入試問題の一部を本要項の27、28ページ（地域経営学部）、43ページ（情報学部）に掲載しています。

2 出願について

Q 出願期間は締切日の必着ですか、消印有効ですか。

A 締切日の消印有効です。

3 Web 出願サイトについて

Q スマートフォンやタブレットで利用ができますか。

A 利用できます。

Q 選抜区分を間違えました。どうしたらよいですか。

A 入学検定料の入金前は、新たに出願内容の登録をしてください。

入学検定料の入金後に間違いが判明した場合は、早急に本学入試係まで連絡をしてください。なお、出願後の変更は一切できません。

Q 志願票を印刷後に名前や住所等を間違いに気づきました。どうしたらよいですか。

A 修正を行いますので本学入試係まで連絡をしてください。修正後の志願票を印刷し出願してください。

4 入学検定料について

Q 入学検定料の返金はできますか。

A 以下の場合に限り返金措置を行います。本学入試係までお問い合わせください。

- ・入学検定料を振り込んだが、出願しなかった。
- ・出願したが、受験資格が該当しなかった（無資格者）。

5 受験票について

Q 受験票はいつ頃からダウンロードできますか。

A 概ね出願期間終了後1週間程度の予定です。ダウンロードができる状態となったら、Web出願サイトに登録したメールアドレスに通知を行います。

6 試験当日について

Q 試験会場の開場時間は何時ですか。

A 入室可能時間と同時刻です。

Q 試験の終了時間は何時ごろになりますか。

A 各選抜区分の試験時間割を確認してください。面接試験がある選抜区分については、試験当日に面接開始時間等を掲示予定です。

Q 試験を欠席する場合はどうしたらよいですか。また追試験等がありますか。

A 自己都合による欠席の場合、連絡は不要です。新型コロナウイルス感染症により受験が困難な場合には追試験の申請ができます。詳細は49ページを確認してください。

7 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

Q 新型コロナウイルス感染症に関して、何か特別な措置等がありますか。

A 詳細は49ページを確認してください。

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

本学の新型コロナウイルス感染症への対応として、令和3年6月4日文部科学省発出の「令和4年度大学入学者選抜実施要項」に記載の「令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン」に準じ、今年度の試験や追試験を行います。

1 試験実施について

受験者の方は9ページ「受験上の注意」を必ず確認し、試験に臨んでください。

2 追試験の設定及び申請方法について

各選抜区分において、新型コロナウイルス感染症等により受験が困難な受験者※について、出願した選抜区分の小論文試験終了時刻である11時30分（ただし情報学部一般選抜後期日程については16時30分）までに、本人もしくはその保護者等から本学入試係に電話（0773-24-7100）があった場合に限り、追試験の申請ができます。申請方法については別途ホームページで案内を行います。なお、追試験の申請には、「受験が困難な理由」を記載した医師の診断書等を提出していただきますので、予め取得しておいてください。なお感染拡大リスクや医療提供体制の逼迫状況等により提出が困難な場合は、本学入試係まで問い合わせてください。

- ※・新型コロナウイルスに罹患し、試験日に療養中の者
- ・試験の前から継続して発熱や咳等の症状がある者
- ・試験当日の検温で37.5度以上の発熱や咳等の症状がある者、または37.5度までの熱はないものの発熱や咳等の症状がある者 等
- ・無症状の濃厚接触者は、受験を認める場合があるので、本学入試係まで問い合わせてください。
- ・予め予想できた事象により受験が困難となった場合は、追試験を認めないことがあります。

3 追試験に関する日程及び選抜方法等

- ・試験会場は全て本学会場とします。
- ・試験当日は各選抜区分とも9時30分に指定席に着席し、10時00分～11時30分の間で小論文試験を行います。面接を行う選抜区分については、13時00分から随時面接試験を行います。
- ・各選抜区分の選抜方法や合否判定方法については、変更はありません。
- ・各選抜区分の日程は以下の通りです。

(1) 学校推薦型選抜（全学部）及び社会人選抜、私費外国人留学生選抜（地域経営学部のみ）

試験日	合格発表日	入学手続期間
12月5日(日)	12月17日(金)	12月18日(土)～12月24日(金)

(2) 一般選抜前期日程及び一般選抜後期日程（全学部）

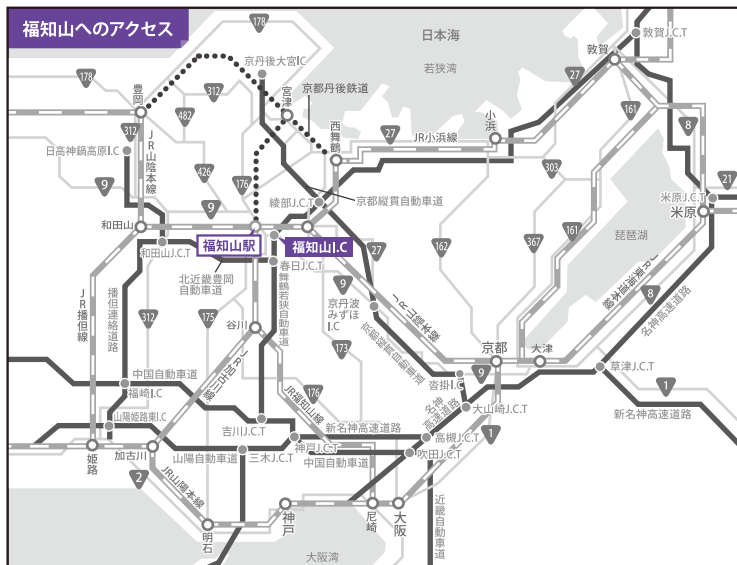
試験日	合格発表日	入学手続期間
3月22日(火)	3月26日(土)	3月27日(日)～3月30日(水)

4 追試験合格者の入学手続について

一つの国公立大学に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学へ入学手続をとることは原則認められていません。

しかし、今年度に限り「前期日程」追試験の合格者はこの限りではありません。また、「公立大学中期日程」追試験の合格者は「後期日程」合格について、「後期日程」追試験の合格者は「公立大学中期日程」についてはこの限りではありません。

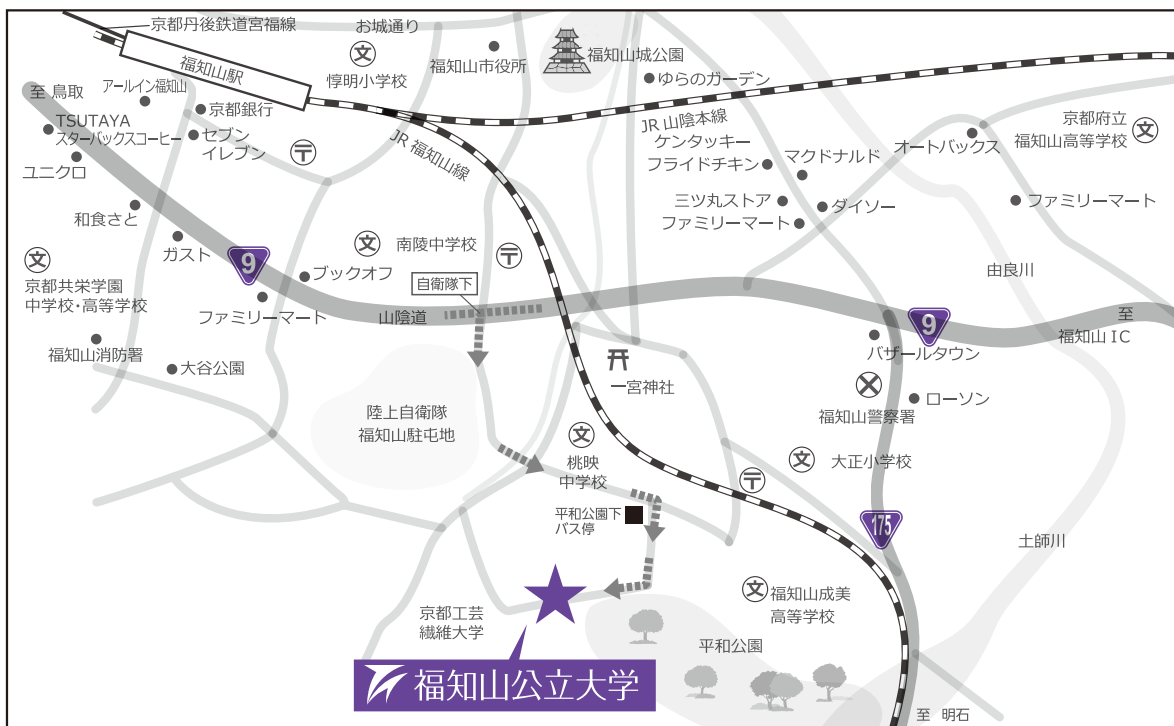
本学へのアクセス



◆JR京都駅からJR福知山駅まで
最短75分

◆JR大阪駅からJR福知山駅まで
最短90分

◆三宮バスターミナルから
福知山駅前(北口)まで
高速バスで90分



◆JR福知山線・JR山陰本線「福知山」駅より

- ・福知山駅北口より京都交通バス堀循環線にて「平和公園下」(地図上の■印)下車、徒歩4分。
- ・福知山駅南口よりタクシーにて約5分、徒歩にて約25分。

福知山公立大学 入試係

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370

T E L 0773-24-7100

F A X 0773-24-7170

E-mail admission@fukuchiyama.ac.jp

U R L <https://www.fukuchiyama.ac.jp/>

